

クロサワドロムシ *Neorihelmis kurosawai* Nomura

【選定理由】

河川の中流、上流域に生息する種であるが、県内ではもともと生息地が少なかった上、小河川の水質汚濁が進んだことによって、非常に個体数が少なくなってしまったものと推測される。

【形態】

体長 3.8～4.1mm。体は長卵形で黒褐色。前胸背板はよく膨隆するが、凹みを欠く。上翅には 10 点刻条があり、間室は平たい。前胸腹板の隆条は前縁に達する。

【分布の概要】

【県内の分布】

矢作川水系の上流域、瀬戸市赤津川で確認されている。

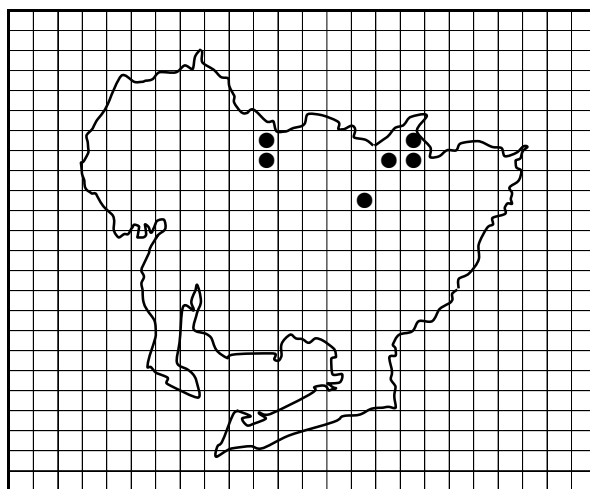
【国内の分布】

本州、九州。

【世界の分布】

日本の特産種。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

河川上流域の浅瀬または植物がからまった岸辺の水中に生息しているが、生態については何も判っていない。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内には、本種の生息に適した環境が限られている。減少の要因としては、ダムや砂防堤の設置による生息環境の消失、周辺地域、支流からの汚水流入などが推測される。

【保全上の留意点】

河川の浄化と周辺地域からの土砂の流入防止が必要である。

【関連文献】

- 佐藤正孝・成瀬義一郎, 1963. 矢作川流域の水生甲虫類. 矢作川の自然: 163-172. 名古屋女子大学.  
吉良博之ほか, 1999. 矢作川水系のヒメドロムシ. 矢作川研究, (3): 95-116.  
市川靖浩, 2012. 矢作川水系におけるクロサワドロムシの記録. 三河の昆虫, 59: 768.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)